

⑤Int.Cl.  
B 41 f

⑥日本分類  
48 B 210

日本国特許庁

⑩実用新案出願公告

昭46-22945

# ⑩実用新案公報

④公告 昭和46年(1971)8月9日

(全3頁)

1

2

## ④捺染用型枠

- ②実 願 昭42-49197  
②出 願 昭42(1967)6月8日  
②考 案 者 川村圭三  
草津市若竹町7の43  
⑦出 願 人 積水化学工業株式会社  
大阪市北区宗是町1



### 図面の簡単な説明

第1図は本考案捺染用型枠の一例の底面図、第2図は第1図II-II線に於ける断面図、第3図は固定棒の一例の斜視図、第4図乃至第6図は型枠に紗を緊張する順序を示す断面図である。


### 考案の詳細な説明


本考案は捺染用型枠に関するものである。従来捺染用型枠に紗を緊張固定するのに糊で接着したり、枠に凹溝を設け、該凹溝に紗の端部を折り込み、上から木製の固定棒を埋設し、固定棒を釘で枠に固定していた。しかし糊で接着した場合は糊が完全に固化するまで長時間かかり、紗が緩まないように押えていなければならなかつた。

又後者は紗が緩まないように緊張しながら固定棒を押えて釘打ちしなければならず、かなりの熟練を必要としていた。

本考案捺染用型枠は何ら熟練を要せず、極めて簡単に紗を緊張固定することが出来、一度緊張固定された紗は決して緩む心配のないもので、その要旨は矩形の合成樹脂或は金属製枠体の底面に外側方に向つて上方に傾斜した勾配と断面  形の溝が設けられ、該溝に断面  形の固定棒を埋設し、該固定棒と溝の間に紗を挟んで緊張固定するようにしてなる捺染用型枠に存するものである。

次に図面を参照しながら更に説明すると1は直角に屈曲した硬質塩化ビニール樹脂製接手、2は硬質塩化ビニール樹脂製筒体で、接手1に筒体2が接続されて矩形的枠体が形成されている。該枠体の底面の全周には外側方に向つて上方に傾斜し

た勾配と断面  形の溝3が設けられている。該溝3を更に説明すると、傾斜部31と該傾斜部31に続く垂直部32と傾斜部31と垂直部32の対向側の突出部33とを有している。

4は断面  形の固定棒で該固定棒4を更に説明すると、下端41は尖鋭になつており、且つ鋸歯状の凹凸が設けられており、一側面には段部42が突出されており、上端には凹溝43が設けられている。固定棒4は溝3の中に、下端41を下にして埋設され、溝3の垂直部32と固定棒4の段部42が設けられていない面及び溝3の突出部33と固定棒4の段部42との間で紗を挟んで固定する。

5は型枠を捺染機の所定の位置に設置し柄の左右を合わせるためのポイント板で、該ポイント板5は型枠の一隅の接手1の上面に固定されており、一端は型枠の一辺の外側方に突出している。6はポイント板5が突出した側で接手1の側面に一体に設けられた突起で、該突起6は型枠を捺染機の所定の位置に設置するとき使用するものであつて、型枠の設置に狂いがあるときは該突起6を削つたりして該突起の先端を捺染機の受棒に接触させて型枠が捺染機の所定の位置に設置するようになすものである。

7は型枠の側部に設けられた把手である。8は型枠に張られた紗である。

本考案捺染用型枠に紗8を張る順序を説明すると、第4図に示す如く、型枠の外側に外枠(図示せず)を嵌め、型枠の裏面に紗8を張り、紗8の端部を外枠に針で固定して一時的に仮張りをする仮張りが出来たら固定棒4を先端41を下にして紗8の上から第5図に示されるように溝3の中に埋設し、埋設後固定棒4の凹溝43にL形に屈曲した道具9の一端を挿入して固定棒4を第6図に示されるように垂直に起こし、固定棒4の段部42が溝3の突出部33に係合するようにする。このようにすると紗8は固定棒4と溝3の内面との間に挟まれて固定されるものである。



又紗8を外すときは上記張る時の逆の順序に行

29  
33  
36

えばよい。

本考案捺染用型枠は型枠の底面に設けられた溝に固定棒を埋設するだけで紗を緊張固定することが出来るので、極めて紗張りが容易であり、一度張られた紗は溝の突出部と固定棒の段部及び溝の垂直部と固定棒の先端部の間で強力に挾持されるので緩む恐れもなく、又紗を引張れば引張る程固定棒を上を持ち上げる力が働く結果、溝の突出部と固定棒の段部の間に大きな締め付け力が働いて紗が緩むのを防ぐ。

#### 実用新案登録請求の範囲

矩形の合成樹脂或は金属製枠体の底面に外側方に向つて上方に傾斜した勾配と断面  形の溝が設けられ、該溝に断面  形の固定棒を埋設し、該固定棒と溝の間に紗を挟んで緊張固定するようにしてなる捺染用型枠。

#### 引用文献

実 公 昭41-20628

実 公 昭41-20629

図1

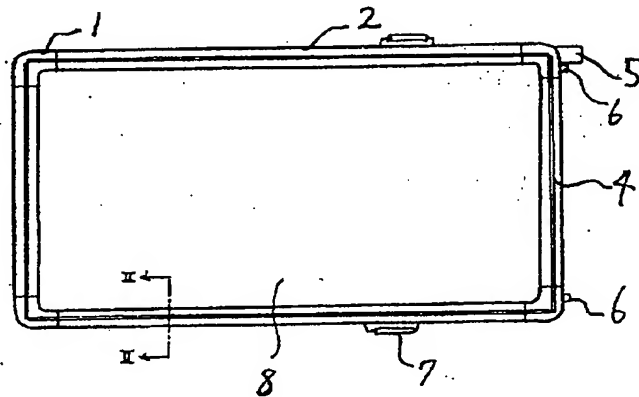
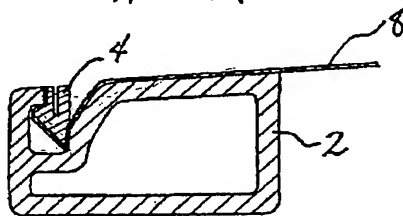
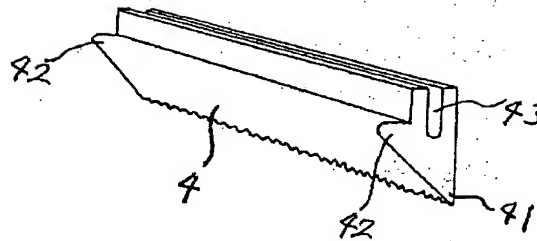


図2



第3図



第4図

第5図

第6図

